

とむとむ
ようこそ湯夢湯夢へ
リフレッシュにどうぞ

市民リポーター
福岡悦子さん
(道目木)



No. 4

昨今の相次ぐ温泉施設の建設ラッシュなどで低迷する温泉郷「大滝温泉」の復活のキーマンともいえる「湯夢湯夢の里」の現状を紹介します。湯夢湯夢の里が将来大きく発展することを願い、取材に挑戦してみました。

**湯夢湯夢の里は
いつできましたか**

平成二年、ふるさと創生事業資金の一億円をもとに建設に着手しました。入浴施設、広場、プール、食堂と順に建設をはじめ、平成六

年の春に現在の規模となったものです。

**湯夢湯夢の温泉効用は
いかがでしょうか**

ナトリウム、カルシウムなどの有効成分を多く含み、動脈硬化症、切り傷、やけど、皮膚病などに良く効くようです。

利用状況は

どうでしょうか

湯夢湯夢の湯は、開設当初から一日平均約三百人のかたが利用し

ています。特に土、日曜日は鹿角市や田代町、比内町など周辺市町村のかたの利用も多く、休憩室が満杯となっています。

また、温水プールについては、七月から九月までの利用は大変多く、小中学校の夏休み中には一日で千人ぐらゐの利用者で混みあった日もありました。しかし、この期間以外の利用者が少なく、今後の大きな課題となっています。

位置などの環境は

いかがでしょうか

JR大滝温泉駅から徒歩で約五分のところであり、また旧国道のバイパスの脇にあって、駐車場も広く、マイカーで来られてもきわめて便利です。湯夢湯夢の湯の入浴料金は大人で百六十円と手ごろとなっています。ただ、休憩室は、二十六畳の広さなので、約三十人で満席となることから、今後考えていかなければなりません。

温水プールについては、利用者のことを考えて一日券、午前券、午後券、ナイター券と区分され、仕事が終わってからでも利用しやすくなっています。料金についても大人で一日券六百十円、午前券四百十円、午後券五百十円、ナイター券四百十円となっています。

